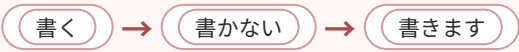


動詞の活用を図で整理しよう

① 動詞は形が変わる

文の中で「書く → 書かない → 書きます」のように形が変わることを活用といいます。



② 活用の種類は5種類

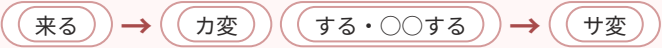
五段	上一段	下一段
カ変	サ変	の5種類

「来る」はカ変、「する・○○する」はサ変として先に確認します。

③ 活用形は6種類

未然 ない・う／よう	連用 ます・た・て	終止 文を言い切る
連体 名詞に続く	仮定 ばに続く	命令 命令を表す

④ 種類の見分け方



それ以外 → 「ない」を付けて、直前の音を確認

ア段 → 五段	イ段 → 上一段	エ段 → 下一段
---------	----------	----------

大切：「五段活用・上一段活用…」は活用の種類、「未然形・連用形…」は活用形です。二つを分けて考えましょう。

図解①「動詞は形が変わる」

問1 上の図①を見て答えなさい。
動詞が文の中で形を変えることを何といいますか。

図解②「活用の種類は5種類」

問2 上の図②を見て答えなさい。
「来る」はどの活用の種類ですか。

図解③「活用形は6種類」

問3 上の図③を見て答えなさい。
「空を飛ぶ鳥」の「飛ぶ」は、後ろに名詞「鳥」が続いています。「飛ぶ」の活用形を答えなさい。

図解④「種類の見分け方」

問4 上の図④を見て答えなさい。
「食べる」に「ない」を付けると「食べない」となり、「ない」の直前はエ段です。「食べる」の活用の種類を答えなさい。
